

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東  
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚野 哲幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 渡辺 勝俊 (TEL) 045-787-8401  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	54,522	18.5	1,677	871.7	2,431	151.1	1,611	146.2
2023年3月期第3四半期	46,025	16.6	172	△33.4	968	123.4	654	134.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,583百万円(11.5%) 2023年3月期第3四半期 4,109百万円(281.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	168.21	—
2023年3月期第3四半期	68.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	67,414	34,861	50.2	3,533.17
2023年3月期	61,639	30,669	48.0	3,085.65

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 33,856百万円 2023年3月期 29,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭(創業100周年記念配当)

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	16.1	2,300	282.7	2,900	115.0	2,000	281.6	208.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	10,200,000株	2023年3月期	10,200,000株
2024年3月期3Q	617,555株	2023年3月期	617,555株
2024年3月期3Q	9,582,445株	2023年3月期3Q	9,574,962株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
(第3四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アメリカでは個人消費を中心とした景気の回復が続く一方、ヨーロッパでは、金融引き締めが継続する中、景気の停滞が続きました。また、中国では不動産市場の停滞等により景気の回復に足踏みがみられます。日本経済は物価の上昇で個人消費が抑制される中、コロナ禍からの経済活動の正常化がさらに進むもとで、インバウンド需要の拡大等を背景に緩やかな回復傾向をたどりました。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、半導体供給不足による生産調整が縮小してきているものの、中国においては自動車市場構造の急激な変化に伴う日系顧客での販売不振・減産の影響が進行しております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅産業におきましては、新築住宅着工戸数は資材高騰の影響等により、戸建ての注文住宅・分譲住宅は減少、その他の賃貸住宅・マンションは前年度とほぼ同水準に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループは引き続き手許資金の流動性を確保しつつ、生産性の向上や経費削減等、変動費・固定費管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は54,522百万円と前年同四半期に比べ、8,496百万円(18.5%)の増収となりました。利益につきましては、それぞれ営業利益は1,677百万円と前年同四半期に比べ、1,504百万円(871.7%)の増益、経常利益は2,431百万円と前年同四半期に比べ、1,463百万円(151.1%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,611百万円と前年同四半期に比べ、957百万円(146.2%)の増益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業(日本)

自動車部品事業(日本)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加などにより、売上高は7,761百万円と前年同四半期に比べ、1,278百万円(19.7%)の増収となりました。増収効果や合理化活動の進展などにより、セグメント利益は434百万円(前年同四半期はセグメント損失166百万円)となりました。

#### ② 自動車部品事業(北米)

自動車部品事業(北米)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は12,382百万円と前年同四半期に比べ、3,286百万円(36.1%)の増収となりました。インフレに伴うコストの高止まりはあるものの増収効果や合理化活動の進展などにより、セグメント利益は139百万円(前年同四半期はセグメント損失468百万円)となりました。

#### ③ 自動車部品事業(アジア)

自動車部品事業(アジア)におきましては、中国での日系車の販売不振・減産影響を大きく受け続けており、売上高は12,558百万円と前年同四半期に比べ、1,211百万円(△8.8%)の減収となりました。固定費管理や経費削減の徹底を図ったものの中国での減収影響が大きく、セグメント損失は673百万円(前年同四半期はセグメント利益5百万円)となりました。

#### ④ 自動車部品事業(欧州)

自動車部品事業(欧州)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は11,680百万円と前年同四半期に比べ、3,673百万円(45.9%)の増収となりました。増収効果や合理化活動の進展などにより、セグメント利益は101百万円(前年同四半期はセグメント損失307百万円)となりました。

## ⑤ セキュリティ機器事業(日本)

セキュリティ機器事業(日本)におきましては、建築資材の高騰を背景とした新築住宅着工減少の影響を受けているものの、大手賃貸住宅事業会社のプロジェクトによる受注が有り、住宅関連製品の売上は前年同期を上回りました。

ロッカーシステム事業については、引き続き国内観光需要の回復によるレジャー・観光客の増加で、コインロッカーのオペレーション収入に加え、物販についても鉄道、空港、ゴルフ場、ホテル向けの受注が堅調に推移したことにより前年同期を上回りました。

なお、売上高は11,420百万円と前年同四半期に比べ、1,923百万円(20.2%)の増収、セグメント利益は1,504百万円と前年同四半期に比べ、165百万円(12.4%)の増益となりました。

## ⑥ セキュリティ機器事業(海外)

セキュリティ機器事業(海外)におきましては、日本向け製品(電気錠)の生産増及びタイ国内の樹脂成形部品の受注増により、売上高は8,431百万円と前年同四半期に比べ、2,528百万円(42.8%)の増収、セグメント利益は888百万円と前年同四半期に比べ、479百万円(117.3%)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は67,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5,774百万円の増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、278百万円増加し、18,115百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が2,347百万円増加、受取手形及び売掛金が643百万円増加したこと等により、4,646百万円増加し、40,018百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が544百万円増加、有形固定資産のその他が551百万円増加したこと等により、1,130百万円増加し、27,393百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が1,915百万円増加したこと等により、2,996百万円増加し、24,072百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1,104百万円減少したこと等により、1,414百万円減少し、8,479百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が2,652百万円増加、利益剰余金が1,228百万円増加したこと等により、4,192百万円増加し、34,861百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の48.0%から2.2ポイント増加し、50.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました「2023年3月期決算短信」の通期連結業績予想値から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえて修正を行っております。売上高73,000百万円、営業利益2,300百万円、経常利益2,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,000百万円を見込んでおります。なお、為替レート的前提につきましては、1US\$=143円、1ユーロ=150円としております。

詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,946	9,294
受取手形及び売掛金	14,136	14,779
電子記録債権	1,225	1,616
商品及び製品	2,375	2,660
仕掛品	1,353	1,436
原材料及び貯蔵品	6,739	7,279
その他	2,668	3,057
貸倒引当金	△73	△106
流動資産合計	35,371	40,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,993	5,343
機械装置及び運搬具(純額)	7,696	7,664
工具、器具及び備品(純額)	2,247	2,143
土地	1,730	1,747
その他(純額)	2,740	3,291
有形固定資産合計	19,408	20,192
無形固定資産		
のれん	1,110	847
その他	1,750	1,792
無形固定資産合計	2,860	2,639
投資その他の資産		
投資有価証券	3,257	3,801
その他	855	888
貸倒引当金	△119	△128
投資その他の資産合計	3,993	4,561
固定資産合計	26,262	27,393
繰延資産	5	2
資産合計	61,639	67,414
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,355	7,435
短期借入金	8,442	10,358
未払法人税等	556	683
賞与引当金	450	655
製品保証引当金	336	321
その他	3,935	4,618
流動負債合計	21,076	24,072
固定負債		
社債	165	30
長期借入金	7,137	6,033
退職給付に係る負債	235	233
資産除去債務	42	42
リース債務	1,248	969
その他	1,065	1,170
固定負債合計	9,894	8,479
負債合計	30,970	32,552

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,962	2,962
利益剰余金	18,484	19,712
自己株式	△551	△551
株主資本合計	23,654	24,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,655	2,062
為替換算調整勘定	4,258	6,910
その他の包括利益累計額合計	5,913	8,973
非支配株主持分	1,101	1,005
純資産合計	30,669	34,861
負債純資産合計	61,639	67,414

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	46,025	54,522
売上原価	39,976	46,289
売上総利益	6,048	8,232
販売費及び一般管理費	5,876	6,555
営業利益	172	1,677
営業外収益		
受取利息	25	53
受取配当金	77	76
為替差益	776	793
不動産賃貸料	18	17
助成金収入	41	25
その他	106	58
営業外収益合計	1,046	1,025
営業外費用		
支払利息	143	213
その他	108	57
営業外費用合計	251	270
経常利益	968	2,431
特別利益		
固定資産売却益	16	5
特別利益合計	16	5
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	13	3
減損損失	-	331
子会社清算損	9	-
特別損失合計	30	335
税金等調整前四半期純利益	954	2,100
法人税、住民税及び事業税	417	800
法人税等調整額	△51	△146
法人税等合計	365	654
四半期純利益	588	1,446
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△66	△165
親会社株主に帰属する四半期純利益	654	1,611



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	588	1,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	407
為替換算調整勘定	3,595	2,729
その他の包括利益合計	3,521	3,136
四半期包括利益	4,109	4,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,030	4,671
非支配株主に係る四半期包括利益	78	△88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	4,960	9,056	13,139	7,811	9,425	1,576	45,969	—	45,969
その他の収益	—	—	—	—	55	—	55	—	55
外部顧客への 売上高	4,960	9,056	13,139	7,811	9,481	1,576	46,025	—	46,025
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,522	40	630	195	16	4,325	6,731	△6,731	—
計	6,482	9,096	13,770	8,007	9,497	5,902	52,756	△6,731	46,025
セグメント利益 又は損失(△)	△166	△468	5	△307	1,339	409	811	△638	172

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△619百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	6,047	12,314	11,612	11,480	11,352	1,668	54,476	—	54,476
その他の収益	—	—	—	—	45	—	45	—	45
外部顧客への 売上高	6,047	12,314	11,612	11,480	11,398	1,668	54,522	—	54,522
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,714	67	946	200	22	6,762	9,712	△9,712	—
計	7,761	12,382	12,558	11,680	11,420	8,431	64,234	△9,712	54,522
セグメント利益 又は損失(△)	434	139	△673	101	1,504	888	2,394	△717	1,677

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去24百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△742百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

自動車部品事業(北米)セグメントの連結子会社であるALPHA INDUSTRY PUEBLA, S.A. DE C.V.及び自動車部品事業(アジア)セグメントの連結子会社ALPHA ADVANCED AUTOMOTIVE PARTS CO., LTD.において、固定資産の収益性低下により、それぞれ84百万円、105百万円の減損損失を計上しております。

また、自動車部品事業(アジア)セグメントの連結子会社ALPHA ADVANCED AUTOMOTIVE PARTS CO., LTD.においては、のれんの収益性低下により、140百万円の減損損失を計上しております。